

## ★委員会の進め方について

○候補地を決めるところからもう一度やり直し、村民にもっとスタートの段階から情報公開してほしい。こそこそ内密に進めているように感じてしまう。

---

○検討委員会の方も建設委員会へ呼んでほしい。(視察に行った感想や考えを聞き参考にしたい)

---

○保護者、地域の方、児童からのアンケートを取って意見を聞きたいです。(施設や制服など、どう考えているのか気になります。

○建設委員会をもっと認知してもらい、信用してもらう必要があると思う。ホームページも良いですが説明会で言葉で建設委員会がどうゆう組織かを説明するのも良いかと思う。

○今場所が話題になってますが、もっと村民に小中一貫校または義務教育学校になった場合のメリット、新しい建物になった場合のメリットやビジョンを説明して、もっとわくわくしてもらって、建設に前向きになってもらいたい。

○子ども達の通学には大小スクールバスが必須条件となり、また周辺の畜産、産廃処理場の臭い、梅雨時の濃霧等の環境問題があるため村当局による相当な覚悟が必要となる。

---

○一番時間をかけるべき場所問題を急ぎすぎたと思う。場所の選定にあたって他の候補地も考えるべき(温泉センター北側)教育委員会も近く最適地だと思う。なぜ漏れたのか不思議。

○時間がかかっても良い、十分な話し合いを行い、立派な小中一貫校を作っていたきたい。

---

○建設委員会の内容、投票数などの情報について、どこまで透明性を持たせるかははっきりさせたい。建設委員のメンバーが誹謗中傷を受けるなどの被害は避けなければならない。

○建設委員会は村長が意見を聞くための諮問機関であり、様々なことについて協議はするが決定権はないということであれば、審議内容等をすべて公表する必要はないと感じる。

どの委員がどんなことを言ったかまで、公表されるようなことになれば、個々の委員が意見を言いづらくなってしまいます。また、個々が攻撃されたり誹謗中傷されたりということも起きかねない。

- 4小中学校での説明会での意見集約の結果を精査し、再度、無記名投票により建設候補地を決定していくのでよいが、候補地は第2候補地まできめておくのではどうか。(土地取得など難航した際の代替地としての第2候補)  
→ 投票できめるのであれば上記①②の理由からも、無記名投票とした方がよい。

-----  
○リモートでの会議出席も1つの選択肢としてあってもいいのではないのでしょうか。

○委員会での建設予定地の現場視察も検討してほしい。

○以前の検討委員会に参加して頂いていた方にも部会もしくは建設委員会に参加して頂いてもいいのではないのでしょうか？

理由は保護者代表者も含む為、子育て世代が多く、意見の重要性が高い。

また、建設委員会では行っていない学校への視察に行っていることも、意見の重要性が高いと思います。

○子供は家族だけでなく昭和村の宝。未来だと思えます。

1人も取り残さない。子供達みんなが平等な教育と学校生活を送れる事を切に願い叶えなければいけないと思えます。

親の都合ではなく、昭和村らしい昭和村にしかできない。他の市町村に対してもモデルとなる様な学校建設に力を入れるべきと考えます。

不平不満はどこになっても出ます。

現状だと委員が全員同じ方向を向いて進んで居ないように感じます。

よりよい学校を建設する事が建設委員会及び部会の役目だと思えますので、さまざまな議論を一つ一つ丁寧に時間を掛けて行っていき、委員がしっかりと納得した上で進めていければいいと考えます。

-----  
○建設委員会も教育委員会も村民から不信感を持たれている。それは、進め方が一方的であり、住民の声を聞いていない。また、情報公開が不十分である。これからはオープンにした情報公開の徹底を望む。

○11月29日～12月2日にかけて、各小中学校4校で住民説明会を開催することは、一つ前進がみられた。

○学校単位で説明会をした後に、意見とアンケートの集約をすると思うが、集約の仕方も難しい。アンケート用紙は、すべて公開すべきである。

○各学校単位で1回だけの説明会をしたからといって、済ませるものではない。このア

ンケート結果の説明も然り。また、間違っても再び投票などせぬように願いたい。  
投票は分断を生む。とにかく分断をしないように議論を積み重ねること。

- 学校統廃合は、住民同士に深い分断を招きかねない。そうした状況を防ぐには、行政と住民が意見を出し合っていくこと。
- 視察によって理想を追い求めすぎて、現実を見ていない感がある。
- 学校規模を重視する余り、地域住民との間に紛争が生じたりすることは、避けなければならない。そのためには無理な統合は避けるべき。どんどん進めることが良いのではなく、立ち止まることも必要である。今は、その時である。急ぐべからず。
- 建設場所は白紙に戻して、村民の声を広く拾い、改めて新たな方策（統合の在り方）を探っても良いのではないか。